



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日
東

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 康之
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理G長 (氏名) 磯辺 謙 (TEL) 0172-33-8131
 定時株主総会開催予定日 2020年12月17日 配当支払開始予定日 2020年12月18日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績(2019年10月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	31,040	0.1	361	27.5	410	24.5	378	70.7
2019年9月期	31,013	△2.3	283	△3.2	329	△1.1	221	△27.6
(注) 包括利益	2020年9月期		388百万円(180.4%)		2019年9月期		138百万円△63.6%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	404.57	—	6.9	2.8	1.2
2019年9月期	236.30	—	4.2	2.2	0.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	14,586	5,653	38.5	6,023.38
2019年9月期	14,751	5,362	36.2	5,693.08
(参考) 自己資本	2020年9月期		5,621百万円	
	2019年9月期		5,336百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	440	204	△511	730
2019年9月期	△765	△142	△14	596

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	90.00	90.00	84	38.1	1.6
2020年9月期	—	0.00	—	90.00	90.00	83	22.2	1.5
2021年9月期 (予想)	—	0.00	—	90.00	90.00		30.5	

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	2.5	210	46.6	228	38.1	145	43.8	155.36
通期	31,800	2.4	390	8.0	425	3.6	275	△27.3	294.65

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年9月期	960,000株	2019年9月期	960,000株
2020年9月期	26,677株	2019年9月期	22,677株
2020年9月期	934,700株	2019年9月期	937,323株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	24,386	0.2	336	22.0	380	19.5	355	66.3
2019年9月期	24,337	△1.1	276	△11.1	318	△8.4	213	△2.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年9月期	380.41		—					
2019年9月期	228.09		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	11,662	5,523	47.4	5,917.64
2019年9月期	11,704	5,259	44.9	5,610.97

(参考) 自己資本 2020年9月期 5,523百万円 2019年9月期 5,259百万円

2. 2021年9月期の個別業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,300	1.6	205	29.5	133	38.2	142.50
通 期	25,000	2.5	385	1.2	250	△29.7	267.86

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(6) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善や設備投資の改善など、穏やかな回復基調となったものの、米中間の貿易摩擦が世界経済に影響を与え、依然として先行き不透明な状況が続いておりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、景気は急激に縮小し、世界経済へ大きな影響を及ぼしました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同期と比べ、売上高は、310億40百万円と26百万円(0.1%)の増収、営業利益は、3億61百万円と77百万円(27.5%)の増益、経常利益は、4億10百万円と80百万円(24.5%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益があった影響もあり、3億78百万円と1億56百万円(70.7%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業が安定的に稼働しており、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、前年同期を上回りました。また、同関連機器は、新型コロナウイルス感染症の影響で、受注のずれ込み等がありましたが、前年同期を上回りました。この結果、売上高は、全体で154億51百万円と5億86百万円(3.9%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、12億77百万円と19百万円(1.5%)の増益となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、新型コロナウイルス感染症の影響で検体検査数が減少したものの、新規採用や新型コロナウイルス感染症の検査試薬の増加などにより前年同期を上回りました。また、同関連機器は、前年度大型案件があった影響で、前年同期を大きく下回りました。この結果、売上高は、全体で119億27百万円と3億42百万円(△2.8%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、11億68百万円と19百万円(1.7%)の増益となりました。

(食品)

食品は、新型コロナウイルス感染症の影響で食品添加物の減少や原料不足による製造量減少などにより、前年同期を下回りました。この結果、売上高は、32億11百万円と1億28百万円(△3.8%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、2億55百万円と8百万円(△3.2%)の減益となりました。

(その他)

その他は、夏場の好天により病虫害の発生が少なく農薬需要が減少したことなどにより、前年同期を下回りました。この結果、売上高は、4億49百万円と88百万円(△16.5%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、78百万円と7百万円(△8.3%)の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億65百万円減少し、145億86百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億56百万円減少し、89億32百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億91百万円増加し、56億53百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、97億32百万円(前連結会計年度は、97億20百万円)となり、11百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億71百万円減少したものの現金及び預金が70百万円、商品が69百万円及び電子記録債権が37百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、48億53百万円(前連結会計年度は、50億30百万円)となり、1億77百万円減少しました。これは主に、リース投資資産が84百万円及び差入保証金が84百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、79億57百万円(前連結会計年度は、82億65百万円)となり、3億7百万円減少しました。これは主に、短期借入金が3億20百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、9億74百万円(前連結会計年度は、11億23百万円)となり、1億48百万円減少しました。これは主に、リース債務が86百万円及び役員退職慰労引当金が85百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、56億53百万円(前連結会計年度は、53億62百万円)となり、2億91百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が2億93百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、7億30百万円と前連結会計年度末に比べ1億33百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果取得した資金は、4億40百万円(前連結会計年度は7億65百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券売却損益が1億61百万円及び法人税等の支払いが1億29百万円あったものの税金等調整前当期純利益が5億71百万円及び売上債権の減少額1億64百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果取得した資金は、2億4百万円(前連結会計年度は1億42百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入2億16百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において財務活動の結果使用した資金は、5億11百万円(前連結会計年度は14百万円使用)となりました。これは主に、借入金の返済3億59百万円、配当金の支払額84百万円及びリース債務の支払による支出54百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
自己資本比率	36.0	33.4	34.0	36.2	38.5
時価ベースの自己資本比率	17.7	19.7	21.7	19.1	21.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	△3.3	0.9	3.7	△1.7	1.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	△72.2	326.8	172.5	△361.5	223.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジレシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で先行きは不透明であり、当社グループに与える影響についても予想が困難であると考えられます。

当社グループといたしましては、今後とも化学工業・医療の進歩に寄与するという専門商社としての使命を自覚し、積極的な営業方針のもと、高度化・多様化するユーザーニーズにきめ細かく応えていく所存であります。

次期の業績見通しは、新型コロナウイルス感染症が潜在化することを勘案して見通しを作成しております。前連結会計年度と比べ売上高が、318億円と7億59百万円(2.4%)の増収、営業利益が、3億90百万円と28百万円(8.0%)の増益、経常利益が、4億25百万円と14百万円(3.6%)の増益、親会社に帰属する当期純利益が、2億75百万円と1億3百万円(△27.3%)の減益を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対して継続的な安定配当を維持していくことを経営の重要政策として位置づけており、今後とも株主利益率の向上を図る方針であります。また、更なる利益追求によって、株主に応えてまいります。

内部留保金につきましては、今後の事業展開に対応した財務体質の強化を図り事業拡大に努めるよう有効に活用してまいります。

当期の配当金につきましては、上記方針に従い普通配当として1株につき90円(期末配当90円)の配当を実施することといたしました。

次期の配当金につきましては、上記方針に従い普通配当として1株につき90円(期末配当90円)の配当を予定しております。

(6) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	698,640	769,634
受取手形及び売掛金	7,627,666	7,455,905
電子記録債権	138,511	175,668
商品	849,929	919,172
リース投資資産	132,959	129,982
その他	274,234	284,501
貸倒引当金	△1,134	△2,220
流動資産合計	9,720,808	9,732,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,752,646	1,776,289
減価償却累計額	△1,242,052	△1,255,935
建物及び構築物(純額)	510,593	520,353
土地	1,498,379	1,498,379
リース資産	447,169	496,785
減価償却累計額	△338,199	△373,715
リース資産(純額)	108,970	123,070
その他	453,865	429,343
減価償却累計額	△144,921	△115,457
その他(純額)	308,943	313,885
有形固定資産合計	2,426,887	2,455,689
無形固定資産		
リース資産	41,712	27,808
ソフトウェア	731	999
電話加入権	6,718	6,718
無形固定資産合計	49,162	35,526
投資その他の資産		
投資有価証券	1,360,829	1,334,568
リース投資資産	379,659	295,344
差入保証金	738,328	654,136
その他	93,548	102,532
貸倒引当金	△17,687	△24,295
投資その他の資産合計	2,554,678	2,362,285
固定資産合計	5,030,728	4,853,501
資産合計	14,751,536	14,586,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,015,483	6,967,719
電子記録債務	220,260	209,899
短期借入金	474,000	153,600
1年内返済予定の長期借入金	39,080	14,280
リース債務	181,932	179,161
未払法人税等	77,301	125,873
賞与引当金	53,450	53,450
その他	204,021	253,805
流動負債合計	8,265,528	7,957,788
固定負債		
長期借入金	84,530	70,250
リース債務	488,333	401,687
繰延税金負債	197,633	206,663
退職給付に係る負債	92,769	102,872
役員退職慰労引当金	199,249	113,560
その他	61,171	79,821
固定負債合計	1,123,688	974,855
負債合計	9,389,217	8,932,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	3,167,522	3,461,316
自己株式	△52,634	△65,525
株主資本合計	4,816,388	5,097,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528,156	533,494
退職給付に係る調整累計額	△8,286	△9,021
その他の包括利益累計額合計	519,869	524,472
非支配株主持分	26,061	31,737
純資産合計	5,362,319	5,653,500
負債純資産合計	14,751,536	14,586,145

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	31,013,852	31,040,674
売上原価	28,256,343	28,260,092
売上総利益	2,757,509	2,780,581
販売費及び一般管理費	2,474,301	2,419,409
営業利益	283,207	361,172
営業外収益		
受取利息	4,176	2,824
受取配当金	28,474	27,970
受取手数料	11,049	8,241
その他	6,067	13,742
営業外収益合計	49,767	52,779
営業外費用		
支払利息	2,116	1,973
支払手数料	1,197	1,483
その他	41	247
営業外費用合計	3,355	3,703
経常利益	329,620	410,247
特別利益		
固定資産売却益	—	198
投資有価証券売却益	—	179,188
投資事業組合運用益	5,629	986
特別利益合計	5,629	180,374
特別損失		
固定資産除却損	119	1,771
投資有価証券売却損	—	17,481
特別損失合計	119	19,253
税金等調整前当期純利益	335,130	571,368
法人税、住民税及び事業税	131,612	176,666
法人税等調整額	△19,943	10,849
法人税等合計	111,668	187,516
当期純利益	223,461	383,852
非支配株主に帰属する当期純利益	1,976	5,699
親会社株主に帰属する当期純利益	221,485	378,152

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益	223,461	383,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85,571	5,337
退職給付に係る調整額	638	△734
その他の包括利益合計	△84,932	4,603
包括利益	138,529	388,455
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	136,585	382,779
非支配株主に係る包括利益	1,943	5,675

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	820,400	881,100	3,030,395	△52,634	4,679,261	613,727	△8,925	604,802	24,117	5,308,181
当期変動額										
剰余金の配当			△84,359		△84,359					△84,359
親会社株主に帰属する当期純利益			221,485		221,485					221,485
自己株式の取得										
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△85,571	638	△84,932	1,943	△82,988
当期変動額合計	—	—	137,126	—	137,126	△85,571	638	△84,932	1,943	54,137
当期末残高	820,400	881,100	3,167,522	△52,634	4,816,388	528,156	△8,286	519,869	26,061	5,362,319

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	820,400	881,100	3,167,522	△52,634	4,816,388	528,156	△8,286	519,869	26,061	5,362,319
当期変動額										
剰余金の配当			△84,359		△84,359					△84,359
親会社株主に帰属する当期純利益			378,152		378,152					378,152
自己株式の取得				△12,891	△12,891					△12,891
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						5,337	△734	4,603	5,675	10,278
当期変動額合計	—	—	293,793	△12,891	280,902	5,337	△734	4,603	5,675	291,181
当期末残高	820,400	881,100	3,461,316	△65,525	5,097,290	533,494	△9,021	524,472	31,737	5,653,500

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	335,130	571,368
減価償却費	93,344	87,901
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△161,706
固定資産売却損益 (△は益)	—	△198
固定資産除却損	119	1,771
投資事業組合運用損益 (△は益)	△5,629	△986
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,951	7,693
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,950	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,401	9,184
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,581	△85,688
受取利息及び受取配当金	△32,650	△30,795
支払利息	2,116	1,973
売上債権の増減額 (△は増加)	△219,666	164,741
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,606	△69,243
仕入債務の増減額 (△は減少)	△756,403	△60,491
その他	△119,479	105,550
小計	△667,431	541,073
利息及び配当金の受取額	32,648	30,805
利息の支払額	△2,116	△1,973
法人税等の支払額	△128,166	△129,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	△765,065	440,571
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△90,305	△52,664
有形固定資産の売却による収入	—	198
無形固定資産の取得による支出	△1,440	△1,090
投資有価証券の取得による支出	△45,291	△25,396
投資有価証券の売却による収入	—	216,749
投資事業組合からの分配による収入	3,470	1,280
定期預金の預入による支出	△107,403	△39,201
定期預金の払戻による収入	102,196	102,201
貸付けによる支出	△500	△6,000
貸付金の回収による収入	530	710
保険積立金の積立による支出	△3,110	—
保険積立金の解約による収入	—	3,840
その他	△896	4,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,752	204,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,190,080	4,859,000
短期借入金の返済による支出	△6,120,800	△5,204,200
長期借入れによる収入	85,720	—
長期借入金の返済による支出	△25,990	△14,280
自己株式の取得による支出	—	△12,891
リース債務の返済による支出	△59,602	△54,778
配当金の支払額	△84,311	△84,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,904	△511,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△922,722	133,993
現金及び現金同等物の期首残高	1,519,161	596,438
現金及び現金同等物の期末残高	596,438	730,432

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、世界経済、社会活動に大きな影響を及ぼしており、今後新型コロナウイルス感染症の収束時期及び影響度合いについて合理的に予測することは、極めて困難な状況であります。当社グループとしては、翌連結会計年度下期以降には、回復に向かうとの仮定に基づき、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学工業薬品・化学工業薬品関連機器、臨床検査試薬・臨床検査試薬関連機器、食品・食品関連機器、農業資材・農業資材関連機器の販売を行っており、商品別に営業グループを置き、各営業グループは、取扱う商品について戦略を立案し、営業活動を展開しております。従いまして、当社の報告セグメントは「化学工業薬品」「臨床検査試薬」「食品」「その他(農業資材)」から構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

なお、当社グループでは事業セグメントへの資産の配分は行っておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,864,478	12,270,343	3,340,517	538,513	31,013,852	—	31,013,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,864,478	12,270,343	3,340,517	538,513	31,013,852	—	31,013,852
セグメント利益	1,258,465	1,149,379	264,119	85,545	2,757,509	—	2,757,509

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,451,442	11,927,750	3,211,930	449,550	31,040,674	—	31,040,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,451,442	11,927,750	3,211,930	449,550	31,040,674	—	31,040,674
セグメント利益	1,277,710	1,168,665	255,776	78,428	2,780,581	—	2,780,581

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	5,693円08銭	6,023円38銭
1株当たり当期純利益	236円30銭	404円57銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	221,485	378,152
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	221,485	378,152
普通株式の期中平均株式数(株)	937,323	934,700

(重要な後発事象)

該当事項はありません。